

河川水辺の国勢調査について

1. 「河川水辺の国勢調査」の概要

①「河川水辺の国勢調査」の主旨

- ・国土交通省は、全国 109 水系の河川を対象とし、「河川水辺の国勢調査」を行っています。
- ・本調査は、河川の環境に関する基礎情報を集める目的で平成 2 年度から始められました。

②北上川及び中津川の生物調査実施状況

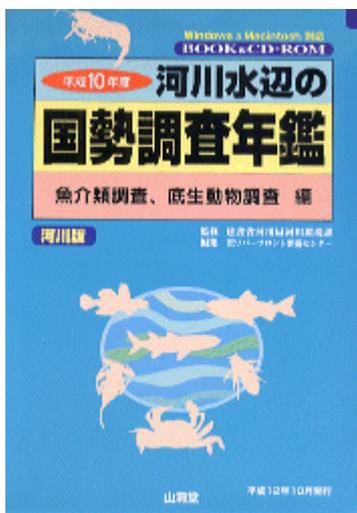
北上川及び中津川の生物調査は以下のように実施されています。

調査項目		調査年度																	
		H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19
生き物調査	魚介類調査	●	●				●					●							●
	底生動物調査			●				●					●						●
	植物調査				●	●				●				●					
	鳥類調査			●					●						●				
	両生類・爬虫類・哺乳類調査						●					●						●	
	陸上昆虫類等調査					●					●					●			
河川調査			●	●	●					●				●					
河川空間利用実態調査			●	●	●				●			●			●				

③調査結果の公表状況

中津川・北上川を含む全国 109 水系の調査結果は、以下の情報媒体で公表されています。

- ・書籍・CD : 「河川水辺の国勢調査年鑑」
- ・WEB サイト : 「河川環境データベース（河川水辺の国勢調査）」国土交通省



書籍



WEB サイト

<http://www3.river.go.jp/>

2. 北上川・中津川で確認されている生き物

	種数		中津川で確認されている生き物
	北上川	中津川	
魚介類(H18)	15	7	サケ、ヤマメ、カジカ、アユ、アブラハヤ、カマツカ など
底生動物(H19)	126	191	ヘビトンボ、ヨシノマダラカゲロウ など
植物(H14)	253	265	クサヨシ群落、シロヤナギ群落、ヨシ群落 など
鳥類(H15)	49		マガモ、イソシギ、ツバメ、ヒバリ、キセキレイ、シジユウカラなど多数(調査地点が北上川開運橋)
両生類(H17)	2	5	トウホクサンヨウウオ、ヤマアカガエル、カジカガエル など
爬虫類(H17)	1	2	シマヘビ、アオダイショウ
哺乳類(H17)	7	7	ニホンリス、アカネズミ、タヌキ、イタチ、モグラ
陸上昆虫類(H16)	383	483	イタドリハムシ、アオゴミムシ、コバネイナゴ、ヤマトシジミ、ムラサキトビケラ など

※()は調査年度(最新年度)



青文字: 北上川の調査地点

植物は蛇ノ島

両生類、爬虫類、
哺乳類、陸上昆虫
は北大橋

赤文字: 中津川の調査地点

【北上川水系で確認された貴重な動植物※】

北上川水系で確認された貴重な動植物(～H15)	
魚介類	タナゴ、ギバチ
底生動物	コシダカヒメモノアラガイ、ホンサナエ、アオサナエ、コオイムシ、コバンムシ、ケスジドロムシ、ゲンジボタル
植物	アイアスカイノデ、イヌブナ、サクラタデ、ホソバイヌタデ、ノダイオウ、マダイオウ、カワラナデシコ、エゾフスマ、センウズモドキ、バイカモ、コウモリカズラ、コウホネ、ウマノスズクサ、ナガミノツルキケマン、タノコアシ、シロヤマブキ、ナガボノシロワレモコウ、イヌハギ、イワウメヅル、イヌセンブリ、オオアブノメ、キクモ、ヒヨクソウ、シロバナカモメヅル、キクムグラ、コムラサキ、イガホオズキ、ソクズ、ナベナ、カワラニガナ、コオニタビラコ、アギナシ、イトモ、アヤメ、カキツバタ、ホソコウガイゼキショウ、ミミガタテンナンショウ、ヒメザゼンソウ、ミクリ、コアゼテンツキ、マツカサススキ
鳥類	ヨシゴイ、マガン、ヒシクイ、オシドリ、トモエガモ、ヨシガモ、シノリガモ、カワアイサ、ミサゴ、オジロワシ、オオワシ、オオタカ、ハイタカ、ノスリ、サシバ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウ、バン、コチドリ、シロチドリ、ハリオアマツバメ、ヤマセミ、カワセミ、ノゴマ、ノビタキ、コヨシキリ、コサメビタキ、サンコウチョウ、ホオアカ、ノジコ
両生類	トウホクサンショウウオ、クロサンショウウオ、トウキョウダルマガエル、カジガガエル
爬虫類	—
哺乳類	カモシカ
陸上昆虫類	オゼイトトンボ、ナカハラヨコバイ、ズイムシハナカメムシ、オオチャバネセセリ、スジグロチャバネセセリ、ヘリグロチャバネセセリ、ゴマダラチョウ、オオムラサキ、ジャコウアゲハ、ヒメシロチョウ、ミドロミズメイガ、フタオレウスグロエダシヤク、アカガネオサムシ、アカムネハナカミキリ

出典：川のなりたちと生き物たち（北上川の自然環境）

※貴重な動植物

1	天然記念物 国指定特別	特天
2	“ 国指定	国天
3	“ 県指定	県天
4	“ 市指定	県天
5	「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」指定種	保存
6	環境庁レッドリスト絶滅危惧ⅠA類	危惧ⅠA
7	“ 絶滅危惧ⅠB類	危惧ⅠB
8	“ 絶滅危惧Ⅰ類	危惧Ⅰ ^{*1}
9	“ 絶滅危惧Ⅱ類	危惧Ⅱ
10	“ 準絶滅危惧	準危惧
11	“ 情報不足	不足
12	岩手県版レッドリスト野生絶滅	野絶
13	“ ランクA	県A
14	“ ランクB	県B
15	“ ランクC	県C
16	“ ランクD	県D
17	“ 情報不足	県不足
18	第2回自然環境保全基礎調査で選定された特定植物群落 『日本の重要な植物群落の分布』の指定群落	重要 ^{*2}
19	『緑の国勢調査報告書』における「すぐれた自然の調査」対象種	自然 ^{*2}
20	自然公園法の指定種	公園 ^{*2}

3. 中津川に生息する魚類の特徴

1. 流水性の魚類が主として確認されている

- ・ 中津川でこれまでに確認された魚類は 10 種である。
- ・ 中津川の流は瀬(早瀬・平瀬)が主である。そのため、ウグイやヤマメ、アユなどの流水性の魚類が確認されている。北上川本川等で見られるコイやフナ、ナマズ等の流れが緩い環境に生息する種は確認されていない。



ウグイ



アユ



サケ



ヤマメ

2. 「清流の証」カジカが生息

- ・ 中津川で特筆すべき種はカジカである。
- ・ カジカはきれいな澄んだ水にしか棲まないことから「清流の証」とも言われており、中津川の良好な水質を象徴する種である。



3. 外来種は確認されていない

- ・ 北上川水系では唯一、外来種が一種も確認されていない。
- ・ 一方、北上川本川や胆沢川等ではオオクチバス(ブラックバス)やタイリクバラタナゴ等の外来種が確認されている。

〔平成 18 年度(2006 年度)魚介類調査結果〕

魚類 縦断確認状況一覧表

No.	和名	河川名 縦断区分名 距離(km)	北上川			磐井川	胆沢川	和賀川	中津川	重要種	外来種	初めて 確認 された 種
			下流域 (狭窄部)	中流域 (田園地区)	上流域 (都市部)	田園地区	田園地区	田園地区	都市部			
1	コイ			●○	○		○	○				
2	ゲンゴロウブナ		●○	●○	○	○	○	○●				
3	ギンブナ		○	●○	○	●	○	○●				
4	キンギョ		○	○								
5	フナ属の一種			○		○	○	○				
6	タナゴ		●	●○					準絶滅、県D			
7	タイリクバラタナゴ		●	●○			○●				要注意	
8	ハス (※)											
9	オイカワ		●○	●○	○	○●	○●	○				
10	アブラハヤ		●○	●○	●○	○●	○●	○●	●○			
11	ウグイ		●○	●○	●○	○●	○●	○●	●○			
12	モツゴ		●○	●○	●	●	○	●	○			
13	ビワヒガイ		●	●○	●○			●				
14	タモロコ		○	○			●	●				
15	カマツカ		●○	●○	●	○●		●	○			
16	ニゴイ		●○	●○	●○	○●	○●	○●	●○			
17	ドジョウ		●	●○		●	○●	●				
18	シマドジョウ				●○							
19	ギバチ		●○	●○	●○	○●	○●	○●	○	危惧II		
20	ナマズ			●○	●○							
21	ワカサギ		●	○				●				
22	アユ		●○	●○	●○	○	○●	○●	●○			
23	サケ		●	●○	●○	○●	○●	○●	●○			
24	ギンザケ							○				
25	サクラマス			○				○				
26	ヤマメ		●	●○	●			○	●○			
27	アメマス			○								
28	ニッコウイワナ							○				
29	メダカ		●						危惧II		◎	
30	カジカ				●		●	○●	●○			
31	ブルーギル		○								特定	
32	オオクチバス(ブラックバス)		●○	●○	●○		○●	○●			特定	
33	ジュズカケハゼ							●			◎	
34	トウヨシノボリ		●○	●○	●○	○	○●	○●				
35	ヌマチチブ			●								
種数 合計	既往調査		14	26	15	11	14	16	10	2	3	
	今回調査		19	21	15	10	13	18	7	3	2	2
	種数合計		22	27	19	14	17	23	10	3	3	2

●：平成 18 年度の河川水辺の国勢調査で確認された魚種
○：既往の河川水辺の国勢調査で確認された魚種